



# 道有林基本計画

## ～道有林の整備・管理に関する基本的な事項～

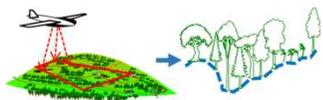


○道有林基本計画の2つの基本方針(「多様で先導的な森林づくり」「資源や技術力を活用した地域貢献」)において、道有林の整備・管理に関する基本的な事項を設定しています。

### 1 多様で先導的な森林づくり

#### 1-1 ICTを活用した森林資源の把握

- 航空レーザ計測などのICTを活用して、広範囲の森林資源を効率的に把握



地形や樹冠・樹高の把握

#### 1-3 天然力を活用した森林づくり

- 人工林の針広混交林化や天然林の抜き伐りによる下層木の育成等を推進



#### 1-6 森林の管理

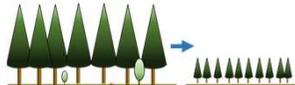
- 高山植物等の不法採取の防止に向けた巡視活動など適切な森林管理を推進



高山植物  
(アポイ岳)

#### 1-2 積極的な伐採・再造林

- 植栽木の成長が良好など、条件の良い人工林について、積極的な伐採と再造林を推進



#### 1-4 路網の整備

- 施業の集約化に向けた丈夫で簡易な路網の整備



林業専用道

#### 1-5 森林の保全

- 貴重な生態系を維持している森林を保全
- 囲いかけによるイグサ捕獲など森林被害対策を推進



クマゲラ

#### 2-5 胆振東部地震被災地の復旧

- 被災森林の復旧に率先して取り組み、その成果を地域の森林所有者等に普及



地震による被害地

### 2 資源や技術力を活用した地域貢献

#### 2-1 森林施業の低コスト化・省力化の推進

- ICTハーベスタなど先進的な高性能林業機械や下草刈り用の林業機械の導入を促進
- 下草刈り作業の省力化につながるよう、成長の早いカラマツ類のコンテナ苗を率先して植林



林内で丸太を玉切るハーベスタ

#### 2-3 地域の木材需要を踏まえた原木の安定供給

- 建築用材や家具材、森林認証材など地域特有の需要に対応するため、素材生産事業者や木材加工工場等との協定締結等により、原木を安定的に供給



#### 2-6 道有林の森林づくりを担う人材の育成

- 広葉樹伐採等の技術に加え、ICT等の新たな技術を有する人材を育成



職員向け広葉樹丸太の品等格付け研修

#### 2-2 道有林の森林づくりを担う林業事業者の育成

- 造林・保育作業の軽労化や木材加工工場と連携してトドマツ大径木の付加価値向上などに取り組む地域の林業事業者を育成



機械による下草刈り作業

#### 2-4 企業等と連携した森林づくりによる「ゼロカーボン北海道」への貢献

- カーボン・オフセットなど森林吸収源対策に関心を持つ企業等が増加しており企業等と連携した森林づくりを推進



#### 2-7 道有林の活用

- 木育マイスターによる森林体験学習など木育活動の場としてフィールドを提供



森林体験学習